

ご挨拶

彩企業年金基金

理事長 松澤 幸男

(トヨタカローラ埼玉株式会社)



事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

2026年4月12日付で北林理事長の後任として、彩企業年金基金の理事長に就任いたしました。本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

近年のライフスタイルの多様化に合わせる形で、2025年6月に年金制度改正法が可決されました。公的年金制度においては被保険者適用範囲の拡大や標準報酬月額の上限額が段階的に引き上げられるほか、在職老齢年金の支給停止基準見直しにより、高齢者が働きやすい仕組みづくりが進められています。また、企業型DCの拠出限度額の拡充やiDeCo加入可能年齢の引き上げなど、私的年金制度の充実も図られ、老後生活の選択肢が広がっています。

将来に向けた資産形成や働きやすい環境づくりへの関心が一層高まる今、皆さまの老後生活を支える企業年金の役割はますます重要になるものと認識しております。

内閣府の発表によりますと、景気は緩やかに回復しており、先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要があり、金融資本市場の変動の影響などにも注意する必要がある、とのこと。

当基金といたしましては、加入者の皆さまの老後生活を支える制度として安心してお任せいただけるよう、安定的かつ長期的な資産運用に努めるとともに、堅実な運営とサービス向上に尽力してまいります。

3月27日に開催された第26回代議員会にて、2026年度予算等の審議事項にあたり承認をいただきました。設立以後順調な運営を維持できましたことも、偏に事業主さま、加入者さまの温かい御厚情の賜物と深く御礼申し上げます。

当基金は今後も事業所さまの更なる発展とそこで働く皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、いっそう業務に邁進する所存です。